

山行報告書

作成: 2007年9月17日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	弓折岳 [北ア]	目的[方法]	中高年安全登山指導者講習会
期間	2007年9月14日(金) ~ 9月16日(日)	形態	講義と実技(小屋泊)
参加人数	2人(受講者総数: 25人)		

行動記録:

9/14(金) 雨@岡崎、微風、23 曇り@高山

豊田松平IC(545) =0:50= 富加関IC[通¥1,000](635) =0:50= ひるがの高原SA(725,740) =0:20= 飛騨清見IC[通¥1,350](800) =0:12= 道の駅「ななもり清見」(812) =1:13= 奥飛騨総合文化センター(925,1422) =0:12= 新穂高温泉(1435,1505) -1:05= 笠新道分岐(1610,1700) -0:10= わさび平小屋(1710)TS1 就寝(21:00)

9/15(土) 晴れ、微風、14 @わさび平小屋 起床(5:00)

TS1(712) -0:33= 奥丸山分岐(745) -1:30= 秩父沢(835,1017) -0:54= 原(1111,1155) -0:35= シシウドが原(1220,1302) -0:25= 熊のおどり場(1327) -0:15= 鏡平山荘(1442)TS2 就寝(20:00)

9/16(日) 晴れのち曇り一時小雨、微風、12 @弓折岳 起床(4:00)

TS2(500) -0:36= 弓折岳鞍部(536) -0:09= 弓折岳(545,550) -0:37= TS2(627,735) -0:02= 鏡池(737,745) -0:15= 熊のおどり場(800) -0:23= シシウドが原(823,852) -0:20= いたどりが原(912) -0:30= 秩父沢(940,1015) -0:40= 奥丸山分岐(1055) -0:28= わさび平小屋(1113,1248) -1:05= 新穂高温泉(1353,1407) =0:13= 奥飛騨総合文化センター(1420,1425) =0:12= 温泉「平湯の森」(1435,1600) =1:20= 道の駅「ななもり清見」(1720,1742) =0:10= 飛騨清見IC(1752) =1:13= 関IC(1905) =0:05= 富加関IC(1910) =0:45= 豊田松平IC(1955)

概念図:



実技講習:

笠新道分岐: 緊急時の対応

- ・負傷者移動: ドラッグ法、背負い法
- ・背負搬送1 (ザック、ストック、スリング)
- ・背負搬送2 (カッパ上下結合)
- ・担架搬送1 (ツェルト、スリング、カラビナ)
- ・担架搬送2 (ザイル網)
- ・松葉杖(ストック2本、テーピング)

秩父沢: 渡渉

人間アンカー(簡易ハーネス)、分散流動(変形エイトノット)、溺死防止策(切断用スリング)、フリクションノット(ダイマーニ40cmスリング)

いたどりが原: 固定ロープ設置

シシウドが原: 転落者救助

人間アンカー、分散流動、フリクションノットをセットし、懸垂下降(半マストノット)する。

負傷者に簡易ハーネスをセットし救助者の体重+ひっぱりで吊り上げる。負傷者側のフリクションノットで逆流を止める。救助者側のフリクションノットでロープを引っ張る。

鏡平: 事故対応訓練(負傷者搬送)

- ・負傷者ザックを空にして背負搬送具を作成、負傷者荷物はメンバーで分担する。
- ・先導者、搬送者確保者、搬送者(負傷者)、負傷者確保者、交代要員の隊列で鏡平まで搬送する。

シシウドが原: 読図(三角測量)

日誌: 往復の道中は激しい雨に見舞われたが、講習期間中は好天気恵まれ、全ての実技講習が実施できた。講師陣の熱の入った模範演技、分かり易い説明で受講者全員「ガッテン! ガッテン! ガッテン!」を連発していた。また、眠たくなりがち「気象」、「自然観察」などの講義も、ウィットに富んだ講師陣による実体験に基づく解説に興味津々で聴き入った。

感想: 3回目の参加になるが、年々実施内容が充実(改善)されているように感じた。研究協議の時間内では十分協議を尽くせないで、夕食後の交流会時間を増やして個別に協議できるようにしてもらえればもっと充実すると思う。